

NOG, 次世代NOG, ヒト化マウスに関するセミナーのご案内

- インビボサイエンスは、技術情報提供の一環として下記プログラムでセミナーを開催しています。
- Web 会議の形式で開催させていただいており、お一人からでもご対応させていただいております。お気軽にお問い合わせください。

プログラム概要：

がん・免疫研究のツールとして、重度免疫不全であるNOGマウスやNSGマウスが汎用されています。しかしながら、ある種の実験では、期待通りのモデルが作製できず、さらなる改良が望まれていました。これまでに改良が進んだ重度免疫不全の次世代NOGマウスについて、その特徴と有用性を紹介させていただきます。同時にヒト化マウスの特徴と実験方法等を紹介させていただきます。

プログラム：

- ヒトがん・免疫研究ツールとしてのヒト化NOGおよびヒト化次世代NOGマウス使用例
- ① hHSC移植NOGマウスを使った免疫チェックポイント阻害剤の抗腫瘍効果
- ② hHSC移植NOG-EXL (NOG-hGM-CSF/hIL-3 Tg)マウスにおけるミエロイド系細胞分化の改良
- ③ hPBMC移植NOG-ΔMHC(NOG-Iab KO, B2m KO2)マウスによるPD-1阻害剤による抗腫瘍作用
- ④ 抗体受容体欠損型FcResolv NOG (NOG-FcγR KO)マウスを用いた抗ヒトPD-1抗体の機能評価モデル
- ⑤ NOG-hIL-2Tg NOG、IL-15Tg NOGマウスを使用したIn Vivo ADCC活性評価モデル

技術情報のご提供

- インビボサイエンスは、実中研の豊富な経験に基づく、技術情報の提供を行っています。
通常 Web 会議形式で実施させていただいております。
- お気軽にお問い合わせください。

実験に関する技術情報には、以下のものが含まれます。

- ✓ NOGマウス、次世代NOGマウスの特性に関する情報。
- ✓ NOGマウス、次世代NOGマウスを使用した実験方法。例えばPDX腫瘍を確立するための実験方法、重度免疫不全マウスとNOD-scidやヌードマウスの違いなど。
- ✓ ヒト化マウス作製のノウハウ。移入する免疫細胞の違いによる表現型の差や、系統による表現型の差、ドナーによる差など。また、移入する細胞数や放射線照射条件など。
- ✓ 実際の薬効試験（特に抗腫瘍剤薬効試験）の実中研における経験など。

● お問い合わせ先：

インビボサイエンス株式会社

Web：<https://www.invivoscience.com/contact/>

Tel：044-201-8518